

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自転車トライアルの普及事業
事業主体 (連絡先)	自転車トライアル普及委員会 〒384-0093 小諸市和田 810-1 090-6047-9581 会長 甘利 昇
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,730,368 円 (うち支援金: 1,175,000 円)

事業内容

1. 全日本自転車トライアル選手権の開催致しました。
佐久ミレニアムパーク 4月23日 24日
同大会はUCI (国際自転車競技連合) のポイントが付加される国内
最高峰の選手権です。

本年の大会参加人数は53名、2日間の観客は約2,400人でした。

大会は佐久平駅南の佐久ミレニアムパークで開催され、セクションと呼ばれる障害物のコースが全体に5個配置され、それを2周して足着きなどの失敗の少ないものが勝者となります。

同大会の主催はJCF公益財団法人日本自転車競技連盟、主管はJBT A日本自転車トライアル協会と開催実行委員会でありました。

開催実行委員会の役員に、本団体自転車トライアル普及委員会役員が関わっております。

大会運営等は主催団体において実施し、大会で使用するセクションと呼ばれる障害物(別紙画像参照)の製作を普及委員会で担当し作成しました。

障害物は同選手権で使用した後、下記2にありますスクールでの使用の他、小諸市柏木に所在する室内練習場に配置し、通年を通して練習ができる環境を整えています。

2. 模擬大会(スクール)の開催
選手権会場である、佐久ミレニアムパークにおいて同種目元世界チャンピオンである寺井一希他2名を講師に迎え、スクール及び模擬大会を実施いたしました。

この際に、選手権で使用した資機材(障害物)を使用しました。

実施日は

6月11日～12日 8月20日～21日 10月9日～10日 12月3日～4日



【別添】

【目標・ねらい】

- ① 全日本選手権参加選手の増加
- ② 競技人口の増加
- ③ 施設利用の事業効果

※自己評価【 B 】

【理由】

当初の事業予定は滞りなく遂行できた。
全日本選手権の参加選手増加の評価は来季です。
スクールは盛況のうちに開催出来た。
施設利用も効果があった。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

の4回開催致しました。

4回とも会場は、ミレニアムパークでの開催でした。
参加対象者は、今日から始めたい小さなお子様から、
選手権でもっと上位を目指したい選手までと、多くの
方に講師3名が分担して対応し行いました。

参加者の募集は、地元新聞への開催の広告、HP/
FB開設、及びSNSを利用する等による拡散等によ
り多くの参加者を募りました。

一回あたりの平均参加者は20名でした。

参加者に気軽にまた自由に参加してもらうため参加
費は無料で行いました。

事業効果

1. 全日本選手権への参加選手の増加 +10%
(昨年の大会参加者は55名でした。)
本年は53名でしたが今年スクールでの成果が
来季にいかせれば参加者の増大が見込めます。
2. 佐久地域の競技人口の増加 +20%
(佐久地域の競技人口は現在10名です。)
本年の活動が来季につながればと思います。
3. 会場周辺の施設利用による事業効果が見込める。
(前出したスクール等による宿泊施設を利用しま
した。)

今後の取り組み

来季以降も引き続き同様の事業を展開し、佐久にトライアルを根付かせるため活動をしていく。